

# wacaf

感動空間♥文化で元気!!



熊野古道 情緒たっぷりの石畳が続く「大門坂」。樹齢800年を超える杉並に囲まれたロケーションは感動もの

- イベントスケジュール
- エッセイ 「熊野と文化遺産」彫刻家 増田 感
- 男性合唱団「ほえーる」
- インタビュー 草刈民代
- レポート 茂山千五郎

Vol.6  
2004  
3.4月号

## 平成15年度きのくに移動芸術祭事業

### かけはし たけし 梯 剛之 ピアノリサイタル

2004年3月22日(月)

開演 / 午後6時半(開場 / 午後6時)

場所 / 和歌山県民文化会館(大ホール)

入場料金 / S席(1階) 2000円(学生1500円)

A席(2階) 1000円(学生800円)

柔らかなタッチから生まれる透明感あふれるピュアな音色。人々の心を魅了し続ける若きピアニスト・梯剛之さん。生後1カ月で失明というハンディを背負いながらも、並はずれた想像力と記憶力、そしてどんなまでの知識欲がすばらしい演奏を生み出しています。

梯さんの演奏は世界的にも高い評価を集めていて、これまでプラハ交響楽団など世界有数のオーケストラや小澤征爾氏をはじめ、そうそうたる指揮者や演奏家たちとの共演も果たしています。また、彼の半生を描いたドキュメンタリー番組も放映され、大きな反響を呼びました。

絶えず曲の背景を研究し、音を磨き続けている梯さんの演奏は、クリスタルのように繊細で深い味わいのある音を生み、喜びや哀しみといった人間の感情を表現していて、多くの人々に感動の嵐を呼んでいます。美しい音が奏でる音楽に聴き入りながら、心の隅々にまで染みこんでくる温かい表情のある演奏をたっぷりとお楽しみください。



profile  
梯 剛之  
(かけはし たけし)

#### 演奏プログラム

##### モーツァルト

ピアノ・ソナタ第17番  
二長調 K.576

ピアノ・ソナタ第5番  
ト長調 K.283

##### シューマン

アベック変奏曲Op.1

##### ベートーヴェン

ピアノ・ソナタ第23番  
ヘ短調Op.57「熱情」

1977年、音楽家の両親のもと東京に生まれる。小児癌を患い生後1カ月で失明。4歳半からピアノを始め、佐々木弥栄子さんなどに師事。1990年ウィーン国立音楽大学準備科に入学。1994年チェコの盲人弱視者国際音楽コンクールで優勝後、数々の賞を獲得。2002年ニューヨーク・カーネギーホールで米デビューを果たし大成功を収める。「梯剛之・ブレイズ・ショパン」をはじめ、4枚のCDをリリース。現在ウィーン在住。

### 第32回

## 和歌山県新人演奏会

### ～オーディション参加者募集要項～

【日時】平成16年7月4日(日)午後1時開演

【場所】和歌山県民文化会館 大ホール

【入場料】無料(公開)

【応募資格】大学院、大学(短期大学・音楽専門学校を含む)において音楽を専攻し平成14年度(平成15年3月)・平成15年度(平成16年3月)に卒業した方で  
本県出身者および和歌山大学卒業生  
本県に在住または勤務している方

【結果発表】オーディション審査後、当日発表。後日、郵送でも通知。また希望の方には結果発表後、選考委員からの講評あり

【演奏時間】7分以内(演奏時間の長さについては審査の対象外)

【曲目】自由(原則として各部門とも本演奏会で演奏する曲を含むこと)

【演奏部門】声楽・器楽・作曲・邦楽  
作曲の場合は楽譜も提出(返却しない)  
テープでの審査は受け付けない  
主催者で用意する楽器はピアノ(スタインウェイ)のみ

【締め切り】平成16年6月14日(月)

【申し込み】所定の申し込み用紙が必要

和歌山県文化振興財団が、平成16年9月26日(日)午後1時から、和歌山県民文化会館大ホールで開催する「第32回和歌山県新人演奏会」。これは、音楽を専攻した若者を広く県民に紹介すると共に、和歌山県の音楽文化振興を図ろうと毎年行っているもの。入場料1000円。ただ今、演奏会の参加者を募集中です。

詳しくは

財団法人 和歌山県文化振興財団 企画課 和歌山県新人演奏会係まで TEL073-436-1331(内線123)

6月  
JUNE

## 日本の伝統芸能歌舞伎に楽しむ 第29回歌舞伎鑑賞教室

見どころを分かりやすく解説し、人形浄瑠璃「彦山権現誓助剣」の九段目の「毛谷村」を上演。吉岡一味斎から八重垣流剣法の極意を受けた主人公、毛谷村六助が師の後家や娘のお園を助け、師を騙し討ちにした京極内匠を討つ物語。



## 庶民が生んだ笑いの芸能を探る 狂言鑑賞教室

日本が誇る伝統芸能「狂言」を存分に楽しむことができる教室です。初心者にもわかりやすい解説で、見どころや鑑賞のポイントをとらえているので、気軽に参加することができます。解説の後には、本格狂言をたっぷりとお楽しみください。



8月  
AUGUST

## 迫力満点のレニングラード国立舞台サーカス レニングラードサーカス

大人も子どもも楽しめるサーカス王国ロシアを代表するレニングラード国立舞台サーカスがこの夏、和歌山に！手に汗握る空中ブランコやアクロバットの数々、愉快で陽気なピエロ。そして子どもたちに人気のクマは、愛くるしい仕草を見せながら玉乗りや自転車乗り、ダンスなどの曲芸を披露します。また新しいプログラムも登場し、興奮と感動のステージから目が離せません。



9月  
SEPTEMBER

## 次代を担う音楽家の卵たちが集結 第32回和歌山県新人演奏会

大学、大学院などで音楽を専攻した若人を広く県民に紹介する新人演奏会。オーディションによって選ばれた音楽家の卵たちが集結します。声楽、器楽、作曲、邦楽などジャンルはさまざま。それぞれの実力を発揮した自慢の音色を会場いっぱいに響かせてくれます。



10月  
OCTOBER

## 最高のショパン弾きが奏でる シェバノワピアノ・リサイタル

ショパンの生誕地、ポーランドで活躍し、研ぎ澄まされた感性とテクニックでショパンの世界を表現するピアニスト。1980年のショパンコンクールで第2位に輝き、日本公演でもチケットの売り切れが続出するほど。演奏曲目はもちろんショパンばかり。彼女が奏でる繊細で透明感のある音色に耳を傾けながら、芸術の秋を感じてみては。



11月  
NOVEMBER

## ポーランド国立ワルシャワ室内歌劇場オペラ 「ドン・ジョヴァンニ」和歌山公演

モーツァルトのオペラ全21作品を上演できる世界唯一の歌劇場。ウィーンやパリ、ニューヨークなどで公演し、多くのアマデウスファンを感動の渦に…。総勢160人の迫力ある舞台は背景、衣装、色彩に至るまでモーツァルト時代の美意識が息づいていると専門家からも絶賛。培われた伝統と胸躍る躍動感、そして表現力に優れたアンサンブル演奏をお楽しみに。



1月  
JANUARY

## フランス屈指のピアニスト エリック・ベルショ ピアノエレガンス

フランスが誇る名ピアニスト。好評を得た今年の公演に続き、再び来日。軽やかな指先が奏でる美しいメロディは、多くの人々の心をとらえ、各国で絶賛されています。今回の公演もポップスやシネマ、クラシックミュージックなど、多彩なプログラムで展開され、美しく情緒たっぷりに表現された心温まるステージをぜひ。



## 今年も、あの人気劇団が和歌山にやってくる！！ 劇団四季 和歌山公演（演目未定）

年間約2800ステージをこなし、私たちを愛と感動の世界に連れていってくれる「劇団四季」が再び！昨年ミュージカル「アンデルセン」で来県し、好評を博した四季が新たなレパートリーを携えて、またまた和歌山にやってきます。さあ今年は何を…！お楽しみに。



「夢から醒めた夢」(過去の上演演目より)

ESSAY

## 熊野と文化遺産

彫刻家 増田 感

熊野という地は歴史的にも、いまだロマンの漂う地であることは、誰もが認めてくれる。そして今年、熊野は「世界遺産」に登録される予定になっている。

今から9年も前のことであるが、「熊野古道」とスペインの「サンティアゴへの道」を見比べていた頃である。その頃には「サンティアゴへの道」は特別文化遺産として登録済みであった。ちょうどスペインから戻った折、日本での出願方法を尋ねたく、軽率ではあったが文化庁の担当に電話をいれたのである。そして対応された方が、「くまの？くまのこどう？それはどこですか？」と反対に尋ねられた。いとも簡単に担当者でも知らぬ所を...と、取りつくしまもなかったことを思い出す。あれから、本当にいろいろな方々の骨折りで世界遺産の暫定登録となった。大変喜ばしい限りである。

だが本当は、これから喜びと一緒にいろいろな問題も生まれてくるだろう。この「文化遺産の登録」というお題目をいかに認識と理解をし、どのように実践していくかが問題なのである。もう道すがらの博覧会とは、畑が違う。そして「熊野古道は癒しの道」と歌うだけでは済まされないであろう。

これから社会に問われ、世界に問われることになる。ここで私的な提案になるのだが、熊野を「若者たちの考える道」にできないだろうか。昔、修験者は、悩みを抱えて野山を駆けたのではなかったか。今、世界の若者が、



山河を越え 日本原風景をたどるいにしへの道「熊野古道」

先が見えなくて困っている。日本だけではない、世界の先進国も途上国でさえ、先進国の経済の歩き方、文化の歩み方がおかしいと思いながら見つめている。そんな若者が自分で考えることができる道、いや考えなくてもいい、ただひたすら歩むだけ...をかなえさせてくれる道があってもいいと思う。「サンティアゴへの道」は今も宗教に守られた道である。さてこの熊野は...。それならばなおのこと、若者にこの熊野を歩いて欲しい。そして私からのお題目は、「ほんの少しのお金と、ロマンと、勇気を持った若者よ！まず熊野を歩け！」である。そうすれば自然と古道は蘇る！そんな若者たちが歩ける道と木賃宿を、造っていただきたい。

そして、今ひとつ「世界遺産登録」が決して到着地ではないということである。本当に人々に役立つ遺産登録になって欲しいと願うのは私だけだろうか。



増田 感 (ますだ かん)

大阪芸術大学彫刻科卒業。スペインのバルセロナで個展を開催、好評を博す。さらに国内でも活躍、県内では「熊野古道」と「サンティアゴへの道」の姉妹道提携を記念した「朝日の鐘」を制作・発表。木や金属がもつ独自の音を引き出すユニークな仕事で評価を得る。

### 【プレイガイド】

※P2、P3の公演は下記でお買い求めいただけます

和歌山県民文化会館 M073 (436) 1331  
 和歌山ビッグ愛 M073 (435) 5200  
 宮井平安堂 M073 (431) 1331  
 近鉄カルチャーセンター M073 (421) 7123  
 カイナンレコード M073 (483) 5039

粉河ふるさとセンター M0736 (73) 3312  
 かつらぎ総合文化会館 M0736 (22) 0303  
 県立橋本体育館 M0736 (32) 9660  
 御坊市民文化会館 M0738 (23) 4881  
 紀南文化会館 M0739 (25) 3033

ローソンチケット M0570 (00) 0403 (電話予約) ※催し物によっては取り扱いのないものもあります

## 男性だけの合唱団、男声合唱団ほえーる 厚みのある男声ハーモニーに 曲の心を乗せて歌い上げる



県庁近くのビルに毎週水曜の夜、男性たちが集まってきます。「男声合唱団ほえーる」は県内では珍しい、男性ばかりの合唱団。杉原治さんの指導の下、県庁の職員たちが立ち上げ、すでに結成から約7年。現在メンバーは同OBや歌好きの会社員などさまざま、30歳～70歳代と幅広い年齢層の人たちが集まっています。さてこの合唱団の名前の由来を伺うと、和歌山市手平のビッグホールの開館イベントに参加し、「歌う」すなわち「吠える」にかけてこの名が誕生したそうです。

日本の曲をはじめ、アメリカやヨーロッパの曲を4つのハーモニーで歌い上げる合唱団。特に日本の曲は言葉を大

切に歌っているとか。歌詞の内容をよく考え、曲の心をつかみ、歌で表現することが合唱団のモットーだそうです。練習中、団員の皆さんは真剣な表情ですが、ひと息つくと笑い声が絶えません。歌うことで心から自信が湧いてきたと話す団員もいるほどです。

現在、団員募集中。ただし男性のみ。また5月14日（金）午後6時半から和歌山県民文化会館大ホールで「男声合唱団ほえーる第四回演奏会」が行われます。童謡を集めたふるさとの四季やアカペラストージなど内容も盛りだくさん。団長の中村協二さんは「団員にとって合唱は人生の大きな楽しみです。歌う曲の歌詞や心を理解し、合唱の中で表現していくのが私たちの目指す目標。そういう部分を聞いてもらえたら」と話します。

【お問い合わせ】M073-445-0222 中村さん



## 県民文化会館に行って来ました。

## 職場体験学習

昨年11月中旬、和歌山市立東中学校の2年生が県民文化会館で職場体験学習をしました。いつもならコンサートや劇などで訪れる“県文”。そこで働く人や舞台裏、地下室など普段入れない場所を見学したり、仕事をお手伝いしたりして生徒たちはどんな感想を持ったのでしょうか。

### 仕事の楽しさ、辛さが少しはわかった

普段、一般の人が入れない所で仕事ができ楽しかったです。部屋のレイアウトをしたのは楽しかったのですが、チケットの整理はとて大変でした。この体験で仕事の楽しさ、辛さがわかり良い経験になりました。また、地下の施設も見学し、私たちが劇などを楽しく見るためにこれらの施設があり、それを操作する人がいるからこそ、私たちが気持ちよく見られるのだと感じました。（祇園舞さん）

### 一番印象に残ったのは冷暖房の管理室

体験学習前の仕事のイメージは書類を書いたり、掃除をしたりするだけだと思っていたのですが、実際やってみるといろいろな仕事がありました。一番印象に残ったのは、地下室での冷暖房の管理です。今まで、クーラーや暖房はどこで管理しているのか全く知らなかったけれど、見学して初めて知りました。また、それで管理している人がどんな仕事をしているか、冷たい空気や暖かい空気が出る仕組みはどうかを係の人が説明してくれ、少し難しい内容でしたが、よくわかりました。仕事で入場券の整理などをしたけれど、簡単な仕事と思っていたことが、思ったより仕事量が多く、肩のこる仕事でとても疲れました。動力体験では今までやったことのない仕事ばかりで戸惑ったけど、CO<sub>2</sub>の量や湿度を調べるのが面白かったです。（龍田早希さん）



### 今回の職場体験を将来に役立てたい

始めは不安がいっぱいで「迷惑にならないかな」とか「きちんと仕事できるかな」とか思っていたけれど、優しく丁寧に教えて下さり、そんな気持ちもだんだんなくなりました。仕事をする前に普通の人が入れない部屋や地下のボイラー室など見学できたことは貴重な体験だし、感激しました。仕事でも勉強になることが多く、行くまでは二日もあるのかと思っていたけれど、終わってみたら、あっという間で、もっといろいろな仕事があったかったです。今回させていただいた仕事を将来役立てていきたいと思います。（奥出逸美さん）

### 社会にはいろんな仕事があることを知った

安く売るためにチケットをまとめて作り、そのチケットをわかりやすくするために一組ずつに分ける。空調の管理でいろんな部屋へ行き、二酸化炭素の濃度や湿度がどれくらいあるのかを調べる。また、水道水にちゃんと塩素が含まれているか調べるなど、大変重要な管理まで体験させていただきました。私たちが社会へ出て、この体験が役立つかはわかりませんが、社会にはいろんな仕事があるということを実感しました。（田中歩美さん）



## 草刈民代「白鳥の湖」を踊る 役の思いを蓄積させて



2004年1月16日に、県民文化会館で開催されたレニングラード国立バレエ「白鳥の湖」。特別出演した人気のプリマ・バレリーナ草刈民代さんに、公演前の直前インタビュー。バレエに対する思いなどを語っていただきました。

**Q.8歳からバレエを始められたとお伺いしています。きっかけは何だったんですか？**

もともと体を動かすのが好きで、踊ることに憧れていました。潜在的にそんな思いがあったんでしょう。そんな中、札幌オリンピックでジャネット・リンのスケートティングを見て、この道（踊り）を進むことを決めました。

**Q.いつごろからバレエを一生のものにしようと？  
進学を決める16歳の時には決めていましたね。**

**Q.バレエの魅力とは何ですか？**

本当にいい踊りとは、物語やその時の思いなどが、どれだけお客さまに伝わっているかだと思います。さまざまな作品を踊りますが、その度にどのように踊ったら伝わるか、私なりに模索しています。

いい踊りとは  
どれだけ  
心に伝わるか



**Q.1987年に「白鳥の湖」で主演デビューし、その後も白鳥の舞台を踏まれています。オデット、オデールを演じる上で心掛けていることはありますか？**

「白鳥の湖」はすでに60～70回...もう数え切れないくらい踊っています。踊るたびに、役の思いがどんどん蓄積されていくような感じで、すべてが見せ場です。楽しみにしててくださいね。

**Q.今後の活動や目標をお聞かせください。**

和歌山での公演は3回目になりますが、皆さん本当に熱心に見てくれています。今後も今までと変わらず、一回一回の舞台を大切に踊っていきたくいですね。また、今年は中国など、アジアの方にも積極的に踊りに行きたいと思っています。



## 日本の伝統芸能に対する 造詣を深める狂言鑑賞会



2004年1月19日に、県民文化会館で開催された狂言鑑賞会「狂言への誘い」。県内の高校生、約250人が一堂に集まり、「狂言」の魅力体験しました。

庶民が生んだ笑いの芸能...その原点ともいえる芸術が「狂言」です。しかしどれだけの日本人が狂言を見たことがあるのでしょうか。大蔵流狂言師十三世・茂山千五郎さんは、「どうも狂言には“難しい、わからない、辛気くさい”というイメージがあるようですね。しかし、まずは舞台を見てほしい。そのイメージが一気に変わるはずですよ」と。昭和25年から伝統芸能の普及のため、学校などでの公演を重ねるうちに、子どもたちの反応も違って来たといいます。「狂言はいわゆる“会話劇”です。劇の中でわからない言葉が出てきても、話の前後の流れでそれが何だかわかるように作られています。能や歌舞伎は勉強してから見に行かれた方がいいと思いますが、狂言は逆に何も知らないままの方が面白く素直に笑えるでしょう」



大蔵流狂言師十三世・茂山千五郎さん

今回の演目「柿山伏」、「附子（ぶす）」では、上演前に狂言の基本的な解説、また演目のキーワードとなる言葉を説明。その話も面白おかしく笑えるもので、子どもたちからも終始笑いの声が聞こえ、会場に響いていました。

### 感想小箱

### Impressions

今回の観賞教室では代表の生徒6人が舞台上がり、先生の指導のもと、狂言の型について実技指導を受けました

\* 狂言を実際に目の前で見られることはもちろん、本物の狂言師の方にその場でご指導を受けることができずごく感動しました。

\* 狂言を初めて見て印象が変わりました。日本の伝統文化の面白さに触れることができ楽しかったです。

\* 舞台上で、立ち姿や歩き方の基本の型を教えてもらいましたが、すごくしんどかったです。教えてもらったことで、舞台を見る視点も違ってきました。

\* 前に一度鑑賞したことがありますが、今日は狂言についての説明もあり、より分かりやすく楽しく鑑賞できました。これからもどんどんこんな機会を増やしてください。

インフォメーション

その1

和歌山ビッグ愛・ビッグホエール  
駐車場プリペイドカード発行

コンサートやイベント、講習会など、県民の文化発信を応援する施設「和歌山ビッグ愛」「ビッグホエール」。約1000台がラクラク収容可能な駐車場を備え、車での来場者が大半を占めています。

そこで4月から、より気軽に駐車場が利用できる両施設兼用の「プリペイドカード」が発行されます。カードは3000円と5000円の2種類。3000円なら3300円分、5000円なら5500円分が使用可能となります。また併せて、従来からの「回数券」もあります。詳しくはM073(435)5200 和歌山ビッグ愛・ビッグホエール管理事務所まで。

和歌山県民文化会館の駐車場では利用できません



イメージです

プリペイドカード

3000円(3300円分使用可能)  
5000円(5500円分使用可能)

回数券

1000円(100円×11枚)  
2000円(200円×11枚)  
5000円(500円×11枚)

駐車場の利用案内は50分/100円(午後9時～午前8時)で250分を超える場合600円

その2

和歌山県民文化  
会館の駐車場

塗装工事中も営業

和歌山県民文化会館の駐車場の外壁をただ今、塗装工事中。工事完了は3月末の予定ですが、工事中も営業は従来通り。24時間営業で年中無休。30分/100円(ただし午後10時～午前7時は60分/100円)お気軽にどうぞご利用ください。



文化振興に一役貢献  
日頃の成果をカタチに

和歌山県民  
文化会館  
展示室利用の  
ご案内

県民の芸術文化活動の場を提供する「和歌山県民文化会館」で、日頃の成果を発表してみませんか。絵画や写真、書、陶器、彫刻など芸術文化面で活躍する、個人やグループの発表に当館の展示室をご利用ください。

■開館時間 午前9時～午後5時

■休館日 第3火曜日

■展示室利用料 (単位:円)

	展示室	飾付 (1日)	展 示 (1日)	示 (6日)	計
一般	大展示室	16,023	22,890×6=	137,340	153,363
	中展示室	7,126	10,180×6=	61,080	68,206
	小展示室	4,480	6,400×6=	38,400	42,880
学校関係	大展示室	8,008	11,440×6=	68,640	76,648
	中展示室	4,039	5,770×6=	34,620	38,659
	小展示室	2,646	3,780×6=	22,680	25,326
有料	大展示室	20,829	29,757×6=	178,542	199,371
	中展示室	9,263	13,234×6=	79,404	88,667
	小展示室	5,824	8,320×6=	49,920	55,744

※ご利用の単位は、原則として火曜から翌週月曜までの7日間  
(ただし第3火曜日を含む週は水曜～翌週月曜の6日間)  
※平成16年4月～平成17年3月31日の間で空き日あり。詳細はお問い合わせ

■展示室 大展示室・中展示室・小展示室



大展示室(1階・413㎡)

Gallery



小展示室(1階・95㎡)



中展示室(1階・151㎡)

交通

●南海和歌山市駅より徒歩約20分、バス約10分

●JR和歌山駅より徒歩約35分、バス約10分

※バス停はいずれも県庁前下車(有料駐車場完備)

お問い合わせ

和歌山県民文化会館

TEL.073-436-1331

和歌山市小松原通1-1 県庁正門前

ワカフ  
Waccaf

感動空間 ♥ 文化で元気!!

「Wacaf (ワカフ)」とは、和歌山県文化振興財団 (Wakayama Culture and Arts Foundation) の英字標記からとった当財団の名称で、文化芸術の素晴らしさをより多くの皆さまに知っていただくために使用しています。この文化情報誌も同じ「Wacaf」としました。イベント開催時ののぼりにも掲げているテーマ「感動空間 ♥ 文化で元気!!」には、「感動空間=心、みんなで文化に親しみ、共に元気になりましょう!」という意味があり、停滞ムードの漂う現代社会に、文化によって精神面から活力を与え「真に生きる喜びを実感できる社会生活」を目指そうというものです。

【ホームページアドレス】 <http://www.wacaf.or.jp>

さぁみんなで入会しませんか  
特典いっぱい!  
「けんぶん友の会」入会案内

入会したその日から、県文化振興財団主催事業の割引、市内3ホテル(アバローム紀の国・和歌山東急イン・ロイヤルパインズホテル)の利用割引などが受けられるほか、先行優先予約、電話予約ができます。また同情報誌「Wacaf」の郵送も。入会金なし、年会費2000円。



「Wacaf」ただ今無料配布  
希望の方には送料実費で  
同情報誌を送ります!

同情報誌「Wacaf」は奇数月に発行。各市町村・県内文化施設などで無料配布しています。また送料(90円切手)負担で郵送も承ります。  
【お申し込み・お問い合わせ】  
M073(436)331  
和歌山県文化振興財団 (Wacaf)



送料実費で定期購読もできます

# Present

【ワカフ プレゼント】

希望の方はハガキに住所、氏名、年齢、電話番号、文化情報誌「Wacaf」で最も良かったと思われる記事を記入のうえ、ご応募ください。厳選な抽選により当選者を決定し、当選者には発送をもって発表にかえさせていただきます。

締切日 3月15日(月) 必着

〒640-8269 和歌山市小松原通1ノ1(和歌山県民文化会館内)  
和歌山県文化振興財団 (Wacaf)「ワカフチケットプレゼント係」



ペア  
3組

平成15年度  
きのくに移動芸術祭事業

かけはし たけし  
**梯 剛之**  
ピアノリサイタル

3月22日(月) 午後6時半～  
県民文化会館 大ホール

## 「けんぶん友の会」の会員様は、こんなにお得!

※ご利用の際は  
会員カードを  
ご提示下さい。

館内3つのレストランでのお食事が10%OFF (一部特別メニューは除きます)



移ろう四季の  
味覚を  
目と舌で味わう



イタリア料理  
**TWIN BIRD**

【営業時間】ランチタイム 11:00~14:00 (OS 13:30)  
ディナータイム 18:00~22:00 (OS 21:00)



ガーデンテラス

【営業時間】モーニング 7:30~10:00  
ディナータイム 10:00~11:00 14:00~17:00  
ランチタイム 11:00~14:00 (OS 14:00)  
ディナータイム 17:00~21:30 (OS 20:30)

爽やかな日差しに  
包まれて  
ランチを楽しむ

※3月15日から4月26日まで  
改換の為休店します

**六つ葵**

【営業時間】  
11:00~21:30 (OS 21:00)

ご予約・お問い合わせは ホテルアバローム 紀の国 〒640-8262 和歌山市湊通丁北2丁目1-2 TEL.073(436)1200 <http://www.avalorm.com>

## 歓送迎会、各種ご宴会などに

### トクトクプラン(バイキングセット)

お寿司 + 和・洋・オードブル + 2時間飲み放題 + カラオケ

(ビール・酎ハイ・ソフトドリンクなど)

これらすべて  
含めてお一人様 **5000円** (税込)

※5名様~要予約  
※洋室・和室好きな方をお選びいただくことができます。

お花見弁当  
などのご予約も  
承り中  
(1200円~)

いつもの仲間と  
ゆったりとした時間を  
お過ごし下さい

ご予約・お問い合わせ (株) 県民文化会館レストラン(フローラ) Phone (073)-436-0265 (内線181)